

2017年度（平成29年度）

事業計画書

学校法人 法政大学

I. はじめに

本学は、2014年7月から、HOSEI2030策定委員会の下、創立150周年を迎える2030年を展望する長期ビジョン(HOSEI2030)の策定に取り組み、2015年度末に、全体構想としての最終報告を取りまとめました。2016年度には、今後の本学の方向性・理念を明らかにするために、「法政大学憲章」及び「法政大学ダイバーシティ宣言」を制定・公表するとともに、16の作業部会を設け、長期ビジョンの構想実現に向けた具体的なアクション・プランを取りまとめています。2017年度からは、長期ビジョンの構想実現に向けたアクション・プランの実施を予定し、「構想・検討」段階から「実行」の段階に入るべく、実行の手順について関連部門との協議を開始します。

学校法人を取り巻く環境は、年々厳しさを増しています。2017年度予算編成に先立ち行った将来10年間の中長期財政収支試算においても、今後、収入面においては、定員を基礎とする学生生徒等納付金収入に大きく依存する傾向は変わらないことから、大幅な収入増を見込むことは難しく、一方、支出においては、人件費及び教育・研究に係る経費、教育・研究環境の整備・維持費等は増大傾向にあり、消費税率の改定等、さらなる支出拡大要因を抱えています。以上のことから、厳しい財政状況が継続することが見込まれ、長期ビジョンの構想実現等、教育・研究への新たな投資財源を確保するためには、財政の健全性の確保・維持に努め、より一層の財政状況の改善が必要となります。強固な財政基盤を構築し、安定した経営を継続していけるよう、収支構造の抜本的な見直しへの取組を続けていきます。

これらの状況を受け、2017年度予算編成では、本来は、事業活動収支差額比率10%相当の収入超過額(基本金組入前当年度収支差額48億円程度)の確保が望ましいものの、現状の収支状況を鑑み、2016年度予算編成と同様、臨時的収支である特別収支差額による影響を除き、基本金組入前当年度収支差額10億円(事業活動収支差額比率2%相当)を確保することを目標としました。

厳しい財政状況においても、必要な施策の推進と財政の健全性の確保のための取組を両立していかなければなりません。限られた財源を有効に活用するため、緊急性や優先度を明確化し、不可欠な施策・事業に財源を集中していきます。

2017年度予算は、以下の基本方針により編成を行っています。

2017年度予算編成の基本方針

- I 事業活動収支計算において、必要額である減価償却額及び予備費を確保したうえで、臨時的収支である特別収支を除き、基本金組入前当年度収支差額10億円を確保できるよう予算を編成する。
- II 新たな事業予算枠「重点施策事業」及び「特別事業」は、事業内容を精査したうえで、予算額の縮減を図る。
- III 経常経費は、内容を精査したうえで、予算額の縮減を図る。

II. 事業計画の概況

1. 重点施策事業 (HOSEI2030 アクション・プラン等)

2017年度から、HOSEI2030の実現に向け、具体的な取り組みを開始するアクション・プラン等の事業について、「重点施策事業」と位置付け、事業を実施していきます。

具体的な事業としては、本学の研究・教育資源の収集・保管・展示を通してブランド発信及び社会貢献を担う「法政大学ミュージアム(仮称)関連事業」、時代に合った新たな授業の実施方法・教育手法を開発し、さらなる教育の質の向上を目指す「オンデマンド型授業の導入事業」、体育会スポーツの強化に取り組む「法政スポーツの強化推進事業」等の取り組みを先行的に行っていきます。

2. 特別事業

年次計画に基づき行う事業について、「特別事業」と位置付け、事業を実施していきます。主なものは以下のとおりです。

(1) SGU事業

本学は、2014年度に文部科学省・スーパーグローバル大学等事業「スーパーグローバル大学創成支援（タイプB：グローバル化牽引型）」に採択され、2017年度で4年目を迎えます。本事業においては、2016年度までに4つの英語学位プログラム(2015年9月 大学院イノベーション・マネジメント研究科Global MBA Program(GMBA)、2016年9月 経営学部Global Business Program(GBP)、人間環境学部Sustainability Co-Creation Programme(SCOPE)、大学院情報科学研究科・理工学研究科Institute of Integrated Science and Technology (IIST))が始動しました。

2017年度には、留学生等向けに「日本語教育プログラム」を開始し、また、多摩キャンパスに位置する学部を中心とするプログラム、デザイン工学を核とする大学院プログラムの開設準備を進めます。また、SGU事業の10年計画の第二段階として、教育プログラムだけでなく、研究プログラムの展開、海外大学との連携強化など、大学のグローバル化を一層進めていきます。

(2) 建設・修繕事業

a. 市ヶ谷キャンパス55・58年館建替工事

2014年3月に着工した55・58年館の建替工事は、2016年8月に「富士見ゲート」が完成しました。2017年度は、2019年2月竣工予定の「南棟（仮称）」の工事を開始し、2019年4月からの使用開始に向け、工事計画を進めていきます。建替工事全体は、南棟(仮称)の完成を経た後、55・58年館の解体工事を行い、2021年1月には、本工事計画が全て完了する予定です。

b. 法政大学女子高等学校国際化・共学化等改修工事

法政大学女子高等学校は、2018年4月より、校名を「法政大学国際高等学校(仮称)」とし、あわせて共学化を予定しています。2017年度はこれに先立ち、校舎等の改修を行い、環境を整備していきます。

c. 多摩キャンパス長期修繕工事他

開設後30年を経過した多摩キャンパスの施設整備は、長期修繕計画に基づき年次計画で進めています。2017年度には、1号館(総合棟)受変電設備更新や14号館(総合体育館)高圧ケーブル更新工事等を予定しています。その他、市ヶ谷キャンパスポアソナード・タワーの外壁他修繕工事、小金井キャンパス南館及び西館空調更新工事等を予定しています。

(3) 奨学金事業

経済的な理由によって就学困難な学生の支援強化をはじめ、優秀な成績等を収めた学生の奨励、自然災害等被災学生の経済支援、海外留学支援等、学生への奨学・奨励事業を実施します。

(4) ICT事業 (Information and Communication Technology)

情報環境の整備は、教育研究活動における情報化の推進はもとより、学校法人運営においても欠かせません。適切かつ安定した運用を維持していくため、中長期計画に基づき整備しています。

2017年度は、全学共通のネットワークインフラである「教育学術情報ネットワーク(net2017)」や、全学の事務システムの基盤である「情報基盤システム」など、大規模なシステムリプレースを予定しています。

上記、重点施策事業及び特別事業のほか、経常的な事業運営に関する経費について、経常経費として計上しています。

Ⅲ. 2017年度における主な事業

2017年度予算に計上した主な事業は以下のとおりです。

2017年度 事業別予算(概要)

(単位:百万円)

分類	主な事業内容		予算額
人件費関係	学内年金の再設計に伴う特別繰入		1,680
重点施策事業	HOSEI2030アクション・プラン関連等の重点施策の実施		277
特別事業	スーパーグローバル大学創成支援事業	文部科学省補助金採択によるグローバル化推進の強化	199
	建設・修繕事業	(市ヶ谷)55・58年館建替工事, (女子高)国際化・共学化等改修工事, (小金井)南館及び西館空調更新工事, (多摩)長期修繕計画に基づく工事 など	4,334
	奨学金事業	「開かれた法政21」奨学・奨励金, 全学部SA等奨学金, 私費外国人留学生授業料減免事業, 新・法政大学100周年記念奨学金, 奨学生学納金減免費(スポーツ特待生) など	1,133
	ICT事業	教育学術情報ネットワーク(net2017), 情報基盤システム, 理工系学部情報教育システム, 入試システムリプレース及び関連業務委託 など	3,945
	補助金事業	(文部科学省)私立大学戦略的研究基盤形成支援事業(継続事業) など	185
	航空操縦学専修事業	理工学部機械工学科航空操縦学専修運営経費	468
	施設の維持・管理事業	総合管理委託事業(警備・清掃) など	1,673
	広報事業	学生募集に係る入試広報事業 など	170
	後援会事業	後援会からの寄付金収入を伴う事業	121
	その他	上記以外の年次計画に基づく各種事業	264
小 計			12,494
経常経費	総長室他	総長室(法人企画・広報), 大学評価室, 付属校連携室, ハラスメント相談室, 監査室 など	101
	法人本部	総務, 人事, 経理, 卒業生・後援会連携, 募金	675
	環境保全本部	施設部(建物賃借等), 事業室, 環境センター	1,053
	教育支援本部	(大学部)学部・研究科・専門職大学院の運営, 通信教育部, 入学センター, グローバル教育センター	2,716
		(付属校)法政大学中学高等学校, 第二中・高等学校, 女子高等学校	394
	学生支援本部	学生センター, 保健体育部, キャリアセンター	321
学術支援本部	研究開発センター, 研究所, 総合情報センター, 図書館 など	1,071	
小 計			6,330
総 合 計			20,780